

5月26日(土)午前

時間	座長	A会場 (第5セミナー室)	座長	B会場 (第4セミナー室)	座長	C会場 (第3セミナー室)	D会場 (講堂)
10:00	坂井信三	A1 原口武彦 アフリカ日本評議会 F. ウフェ・ボワニ評伝 (その2)	半澤和夫	B1 福田聖子 名古屋大学大学院 マラウイにおける在来果樹の利用 —在来果樹の台木を活用した改良品種導入の事例から—	梶茂樹	C1 竹村景子 大阪大学大学院 スワヒリ語諸方言調査報告 (1) —チャアニ変種 (ザンジバル島北部県北部A郡) について—	
10:15		A2 小川了 日本アフリカ学会 ジャーニューとヴォンヴォ —セネガル歩兵異聞—		B2 庄司航 京都大学大学院 ケニアにおける在来野菜の利用		C2 宮崎久美子 東京外国語大学 スワヒリ語諸方言調査報告 (2) —ジャンビアニ変種 (ザンジバル島南部県南部郡) について—	
10:30		A3 石川博樹 東京外国語大学 移動する考古学者たち —グレートジンバブウェと大英帝国の考古学—		B3 池谷和信 国立民族学博物館 コンゴ民主共和国・キンシャサの養豚について		C3 桑本裕二ほか 秋田工業高等専門学校ほか スワヒリ語における 鼻音を含む音節構造について	
10:45	太田至	A4 岡野英之 大阪大学 武装勢力を移動する戦闘員 —第一次リベリア紛争にみる 戦闘員の「乗り換え」行動—	B4 塩谷暁代 名古屋大学大学院 カメルーンにおけるキャッサバ加工と販売 —首都ヤウンデと近郊農村をめぐる食糧流通—	小川了	C4 八木繁実ほか 多摩アフリカセンターほか アフリカの昆虫食 (6) —昆虫食から土食へ—		
11:00		A5 橋本茉莉 一橋大学大学院 戦いと予言の刷新 —南スーダン北東部地域における 「部族」間報復闘争の経験譚から—	B5 西浦昭雄 創価大学 タンザニアのビール産業と大麦調達		C5 高村美也子 名古屋大学大学院 タンザニア北東部ボンディ族のココヤシ酒づくり		
11:15	内藤直樹	A6 古市剛史ほか 京都大学 コンゴ民主共和国戦時中の森林の空洞化 —ランドサットイメージによる分析—	池野旬	B6 佐藤千鶴子 アジア経済研究所 南アフリカ・ワイン産業への黒人の参入の3形態と 経済力強化	今井一郎	C6 伊藤紀子 東京大学 ケニア農村世帯の生計戦略	
11:30		A7 古澤嘉朗 関西外国語大学 モドガシエ・ガリッサ宣言が示唆する国家像		B7 福西隆弘 アジア経済研究所 政変が雇用に与える影響 —マダガスカル輸出向け縫製産業—		C7 口頭発表辞退	
11:45		A8 湖中真哉 静岡県立大学 携帯電話による平和構築 —東アフリカ牧畜社会の事例—		B8 出町一恵 神戸大学大学院 産油国ナイジェリアの国内石油消費と 補助金によるマクロ経済への影響		C8 杉山祐子 弘前大学 見る・試す・知る —在来知の生成する過程—	

5月26日(土)午後

時間	座長	A会場 (第5セミナー室)	座長	B会場 (第4セミナー室)	座長	C会場 (第3セミナー室)	D会場 (講堂)
12:00		昼休み ／評議員会 (2階 第一会議室)		昼休み ／評議員会 (2階 第一会議室)			
13:30		総会 (講堂)		総会 (講堂)			
14:45	波佐間逸博	A9 楠和樹 京都大学大学院 家畜の長距離取引における仲介的な商慣行の意義 —ケニア北東州のソマリを事例に—	平野(野元)美佐	B9 小野悠 京都大学大学院 ザンビア・ルサカの未計画居住地における 土地開発プロセスの解明	星野光雄	C9 水野一晴 京都大学大学院 地球温暖化によるケニア山の氷河縮小と植生変化	
15:00		A10 曾我亨 弘前大学 難民の生存を可能にする新たな経済活動 —南エチオピアにおける複数の民族が従事する ラクダ交易—		B10 戸川翔太郎 京都大学大学院 民主化後の南アフリカ共和国における民衆運動と 都市開発 —ケープタウンの「トイレ戦争」を事例として—		C10 門村浩 東京都立大学 地球変動の中のアフリカ —2011/12年シーズン異常気候イベント—	
15:15	佐川徹	A11 近藤有希子 京都大学大学院 紛争後ルワンダにおける親密圏の変容 —「家族」の再編過程に着目して—		B11 小川さやか 国立民族学博物館 政治のストリート化とストリートの政治化 —タンザニアの路上商人による組織化をめぐって—	水野一晴	C11 平井將公 京都大学 生業変容と人為植生をめぐるアクター間の交錯 —セネガルのセレル社会の事例—	
15:30		A12 松田クラースンさやか 東京外国語大学 「16年後」のモザンビークとルワンダ —比較と関係性の視点から—		B12 森口岳 一橋大学大学院 ものをうんた —新自由主義下ウガンダ、カンパラにおける富、権力、嫉妬—		C12 桐越仁美 京都大学大学院 ニジェール中南部サヘル地域における 農耕民ハウサの樹形に対する認識と樹木利用	
16:00		記念シンポジウム 「アートと博物館は社会の再生に貢献しうるか？」 (講堂) 基調講演： デニス・セングラーネ司教 パネル・ディスカッション： クリストファー・スプリング／栗本英世／小田博志／吉田憲司 (司会)		記念シンポジウム 「アートと博物館は社会の再生に貢献しうるか？」 (講堂) 基調講演： デニス・セングラーネ司教 パネル・ディスカッション： クリストファー・スプリング／栗本英世／小田博志／吉田憲司 (司会)			
18:30		懇親会(1階 玄関ホール)		懇親会(1階 玄関ホール)			

5月27日(日)午前

時間	座長	A会場 (第5セミナー室)	座長	B会場 (第4セミナー室)	座長	C会場 (第3セミナー室)	D会場 (講堂)	
10:00	鈴木裕之	A13 彭宇潔 京都大学大学院 ビグミー系狩猟採集民バカの身体装飾の継承 —身体加工に注目して—	津田みわ	B13 眞城百華 津田塾大学 エリトリアにおける連邦制の経験に関する一考察	西真如	C13 浅野英一 摂南大学 アフリカ人道路技術者への技術研修による 技術移転の限界と可能性	フォーラム 「アフリカ学としての生物学をかんがえる」 山極寿一 京都大学 「アフリカニストにとっての生物学とは何か」 奥田隆 農業生物資源研究所 「乾いても死なないアフリカの虫ネムリユスリカ」 清水大輔 日本モンキーセンター 「アフリカで遠い祖先を探して」 竹ノ下祐二 中部学院大学 「森で類人猿を探し歩く」 椎野若菜 東京外国語大学 「アフリカというフィールドを共有する、そのゆくえ」	
10:15		A14 佐藤浩介 大阪府立高等学校 多言語で唄う歌手たち —マリ共和国・トンブクトゥの ソンライ音楽家の事例から—		B14 中瀬崇文 国際協力事業団 ザンビア2011年の 政権交代と公共部門改革		C14 勝俣昌也 畜産草地研究所 研究成果の実践・普及を タンザニアと日本の事例で比較する試み		
10:30		A15 太田雅子 京都大学大学院 セネガルにおける 写真文化の創造をめぐる歴史的考察 —写真家、イメージ、美学—		B15 田中正隆 高千穂大学 ジャーナリズムと選挙 —2011年ベナン大統領選挙を中心に—		C15 久田信一郎 京都大学 参加型立体地形モデル手法による実践的地域研究 —エチオピア農村部でのワークショップを事例として—		
10:45		A16 ウスビ・サコ 京都精華大学 世界遺産をめぐる 文化保存と地域観光促進の課題 —ジェネの事例を通して—		B16 米川正子 宇都宮大学 平和と司法による正義のディレンマ —コンゴ民主共和国の不処罰と選挙の関連性—		C16 赤阪賢ほか NPO法人「少年ケニアの友」 「かまどジコ」のフォローアップ報告		
11:00	慶田勝彦	A17 石原豊一 立命館大学大学院 SDP発展に向けての展望と課題 —アフリカを包摂するグローバルスポーツ資本と どう対峙するのか—	北川勝彦	B17 加茂省三 名城大学 ジャック・フォカールとアフリカ —フォカール文書の調査から—	澤村信英	C17 森康成 近大姫路大学 アフリカの英語教科書における災害や防災の記述	フォーラム 「アフリカの「音文化」は、「無形文化遺産」で あるか、ありうるか？」 川田順造 神奈川大学 「旧モシ王国の太鼓言葉と旧タホメー王国の「コトジャ」の 場合」 鈴木裕之 国士館大学 「アビジャンの音楽産業とグリオの伝統的技芸 —近代化の中で継承される「誉め歌」の伝統—」 鶴田格 近畿大学 「タンザニアにおける女性ダンス結社の歌の事例」 亀井伸孝 愛知県立大学 「手話言語の成立と伝承」 松平勇二 名古屋大学 「ジンバブエにおけるンビラ音楽の継承」 川瀬慈 国立民族学博物館 「エチオピア地域社会の無形文化の存続をめぐる課題 —アズマリの映像人類学的調査を事例に—」	
11:15		A18 関幸生 公益財団法人日本陸上競技連盟 ケニアのカレンジン民族が世界のマラソンを席巻する 社会的背景		B18 高林敏之 西サハラ問題研究室 「北アフリカ革命」とアフリカ連合 (AU) —「反憲法的政府変革」拒否原則との関連で—		C18 川口純 早稲田大学大学院 地域住民による伝統的な 初等教員採用制度について —マラウイのムツゴレリ制度を事例に—		
11:30	増田研	A19 新山智基 日本学術振興会 西アフリカにおける 顧みられない熱帯病支援モデルの構築 —ブルーリ潰瘍モデルを中心に—	望月克哉	B19 岩田拓夫 宮崎大学 アフリカ政策におけるアジア的アプローチの 導人的考察 —日本・中国・韓国・インドの比較研究を通して—	飯田優美	C19 中村聡 広島大学 「アフリカ」的教師像の理解に向けた 枠組みに関する一考察 —ザンビアにおける事例を手がかりに—		
11:45		A20 玉井隆 東京大学 ナイジェリア・ラゴスの貧困層における マラリア認識と医療実践		B20 吉田栄一 横浜市立大学 南アフリカの都市政策と ヨハネスブルグにおける中国人移民		C20 澤村信英 大阪大学大学院 ケニアの伝統的コミュニティにおける小学校就学の意味 —中途退学したマサイ少女の十年後—		
12:00		A21 林玲子 東京大学大学院 アフリカ都市人口の動向 —人口保健調査から見た人口移動性傾向との関係—		B21 溝辺泰雄 明治大学 第二次世界大戦期の日本アフリカ交渉史研究 —英語圏西アフリカ (ガーナ) に現存する 旧日本軍の「戦利品」に関する調査の予備的報告—		C21 阿毛香絵 フランス国立社会科学高等研究院 セネガルにおける高等教育とイスラーム —教育、宗教実践と 新たなアイデンティティ形成の現場から—		
12:15		A22 飯澤良隆 利根エンジニア株式会社 マダガスカル事情		B22 飯澤良隆 利根エンジニア株式会社 マダガスカル事情		C22 山田肖子 名古屋大学 教科書に見る市民性概念 —エチオピア民主化プロセスにおける公民教育—		
12:30	昼休み				昼休み			
13:30	ポスター発表発表コアタイム				ポスター発表発表コアタイム			

5月27日(日)午後

時間	座長	A会場 (第5セミナー室)	座長	B会場 (第4セミナー室)	座長	C会場 (第3セミナー室)	D会場 (講堂)	
14:30	梅屋 潔	A23 安高雄治 関西学院大学 タナラナ社会における墓制 —マダガスカル南西部の農耕牧畜民の事例—	峯陽 一	B23 宮内洋平 立教大学 南アフリカの新たなアパルトヘイト —ヨハネスブルグのゲーテッドコミュニティ—	椎野 若菜	C23 阪本公美子 宇都宮大学 タンザニア南東部コミュニティにおける 女性世帯主世帯の脆弱性と自在性	フォーラム 「援助と研究のヘルスケア・ローカリティ」 作道信介 弘前大学 「北西ケニア・トゥルカナ、カクマ周辺における医療化の影響」	
14:45		A24 古澤礼太 中部大学 ガーナ共和国アクラの葬送儀礼に見る親族内の贈与 —オス地区の「親族」の事例から—		B24 上塚一世 工学院大学 アパルトヘイトの分析「死角」 —セクシュアリティからの問いかけ—		C24 児玉由佳 アジア経済研究所 エチオピア農村部における生計多様化と 若い女性のライフコースの変化		波佐間逸博 長崎大学 「北東ウガンダ、カリモジョンにおける病いをめぐる ライフヒストリー」
15:00		A25 花淵馨也 北海道医療大学 援助文化の創造 —マルセイユのコモロ系移民による同郷組合活動—		B25 河野明佳 津田塾大学大学院 南アフリカにおけるホームランド政策と エスニシティに関する一考察 —オレンジ自由州ポツァベロ設立をめぐる クロムドゥラライ住民の経験から—		C25 藤田和佳子ほか 大阪大学大学院 アフリカにおける女性中心の出産への課題		神谷保彦 長崎大学大学院 「アフリカにおける保健システムと健康関連行動の 相互多様化の相対化」 駒澤大佐ほか 長崎大学ほか 「ケニア農村部における人口登録動態追跡システム(HDSS) の 構築、5年間の成果と課題」
15:15	近藤 英俊	A26 伊東未来 大阪大学大学院 「近代化」とジン —ジェンネのイスラーム精霊信仰の変遷—	永原 陽子	B26 阿部利洋 大谷大学 南アフリカにおける カラード・アイデンティティの台頭	山極 寿一	C26 萩野泉ほか 北海道大学ほか ピグミー系狩猟採集民の子どもの 年齢上昇にともなう日常行動の変化 —カメルーン東部州における Bakaの半定住集落の事例から—	杉田映理 東洋大学 「ウガンダ東部における住民の水資源選択行動」	
15:30		A27 大山修一 京都大学大学院 ニジェールのハウサ社会における 「動くこと」の重要性と人口増加の問題		B27 網中昭世 東京外国語大学 南部アフリカ史における「連帯」の再検討 —アパルトヘイト廃絶後の 南アフリカにおける排外主義に関する考察—		C27 仲谷英夫ほか 鹿児島大学ほか ケニア・リフトバレーの 後期中新世哺乳類動物相と その古環境		
15:45		A28 川口博子 京都大学大学院 伝統的権威の再創造と慣習法 —ウガンダ北部アチョリ社会における 殺人に対する賠償—		B28 海野るみ 「ル・フレ・クランのグリクワ」 —概念に問いを聞く「共同体」のすがた—		C28 五百部裕 椋山女学園大学 タンザニア、マハレにおける哺乳類密度の経年変化		
16:00	嶋田 義仁	A29 松本尚之 横浜国立大学 「国家なき社会」の王族たち —ナイジェリア・イボ社会における世襲王権の創造—	佐藤 廉也	B29 吉田早悠里 日本学術振興会 周縁化の人々から「差別」される人々へ —変化するエチオピア南西部カファ社会とマンジョー—	古市 剛史	C29 飯田恵理子ほか 京都大学 西部タンザニア、ミオンボ疎開林における哺乳動物相		
16:15		A30 桑島穂 大阪市立大学 1940年代ガーナ・アシャンティにおける 中等教育の展開とチーフノエリート		B30 山野香織 京都大学大学院 エチオピアン・ディアスポラ社会における 遠隔地ナシヨナリズムの実態 —米国ワシントン首都圏における オロモ・ナシヨナリズムを中心に—		C30 田代靖子 林原類人猿研究センター “Lola ya Bonobo” の飼育ボノボによるハンゴ利用		
16:30		A31 Liazzat Bonate ソウル国立大学 Muslim Female Chiefs, Slave Trade and the Resistance to Colonialism		B31 分藤大翼 信州大学 先住民組織における参加型映像制作の実践 —カメルーン共和国のBakaの事例—		C31 藤本麻里子 京都大学大学院 タンザニア、国立公園周辺における 野生動物と人の遭遇とその対処法		